

23 盛 環 号 外  
平成 23 年 12 月 16 日

盛岡市議会議員各位

盛岡市長 谷 藤 裕 明

被災地支援施設建設プロジェクト(エコハウス)について

このことについて、「被災地支援施設建設プロジェクトもりおか実行委員会」が実施主体となり、大槌町、山田町に建設を進めてまいりましたエコハウスが完成し、実行委員会から別紙のとおり報告がありましたのでお知らせします。

本事業にご理解・ご協力を賜りました議員各位に対しまして、改めて感謝を申し上げますとともに、今後とも本市が行う沿岸被災地支援事業に対しまして、さらなるご指導・ご支援をお願い申し上げます。

記

- 1 被災地支援施設建設プロジェクトもりおか実行委員会報告書  
別紙のとおり
- 2 建設地及び完成式典(引渡し)
  - (1) 山田町
    - ① 建設地  
船越家族旅行村オートキャンプ場内 (No. 7 区画)  
(下閉伊郡山田町船越 9-266-2)
    - ② 完成式典(引渡し)  
平成 23 年 12 月 6 日 (火)
  - (2) 大槌町
    - ① 建設地  
小槌第 4 仮設団地南側区画駐車場内  
(上閉伊郡大槌町小槌第 17 地割字曾根 55 番)
    - ② 完成式典(引渡し)  
平成 23 年 12 月 11 日(日)

担当：環境部環境企画課 小笠原，藤澤 電話 651-4111 内線 8411
----------------------------------------------

# 「エコハウス」が完成しました

被災地支援施設建設プロジェクトもりおか実行委員会

本年9月から準備を進めてまいりました被災地支援施設「エコハウスやまだ」及び「エコハウスおおつち」が完成し、それぞれ12月6日、12月11日に引渡しをさせていただきました。

ご支援いただきました関係各位に謹んでご報告いたしますとともに、ご支援・ご協力をいただいた皆様に改めて感謝を申し上げます。

## ☆事業のあらまし

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の沿岸被災地復興支援のシンボルとして、山田町及び大槌町の意向を踏まえ、仮設住宅敷地内に環境配慮型のミニ集会施設としてエコハウスを建設しました。

この取組みは、東海大学が大船渡市越喜来地区に建設した「どんぐりハウス」のコンセプトを継



「エコハウスおおつち」完成式典後、出席者や地元の皆さんと記念写真

承し、「もりおかエコライフ2011」実行委員会からの寄附、盛岡市からの負担金及び多くの企業・団体・個人からの協賛により実現の運びとなったものです。



エコハウスには多目的のロフトも設置



「3.11絵本プロジェクトいわて」から寄贈された絵本



電気を使わないエネルギー自立型のペレットストーブ



市産材を使用したテーブルセット

## ☆建物の概要

建物本体は、木造平屋建て、延べ床面積9坪で、主な特徴は次のとおりです。

\*市産材及び震災廃木材を再生した復興ボードを使用し、増改築や解体、建て替えが容易な工法となっています。

\*ソーラー発電・蓄電システム、ペレットストーブ、LED照明など環境に配慮したエネルギー自立型の施設となっています。

\*イベント協賛企業から遮熱材、リサイクルガラス造粒砂の提供をいただきました。また、ボランティア団体から、建物を飾るリースや絵本の寄贈をいただきました。



# 「エコハウスやまだ」完成式典

沼崎喜一山田町長にご出席いただき、12月6日(火)に現地において完成式典を開催しました。

式典では、実行委員長である谷藤盛岡市長からの挨拶ののち、沼崎町長から謝辞をいただき、お二人で「エコハウスやまだ」の看板を掲げ、硬い握手を交わしました。

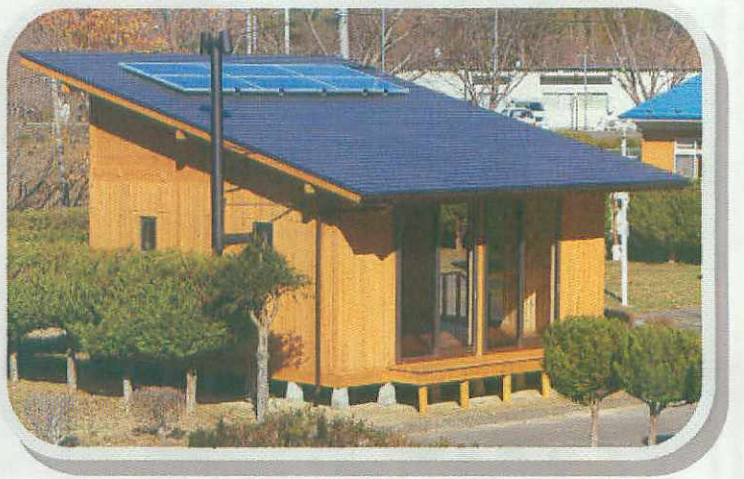
また、式典後には、ひつつみの振る舞いや3.11絵本プロジェクトによる絵本のプレゼント、リースづくり講習会など盛りだくさんのアトラクションで、多くの皆様楽しんでいただきました。



谷藤実行委員長から沼崎町長へ「エコハウスやまだ」の引渡しを行いました。



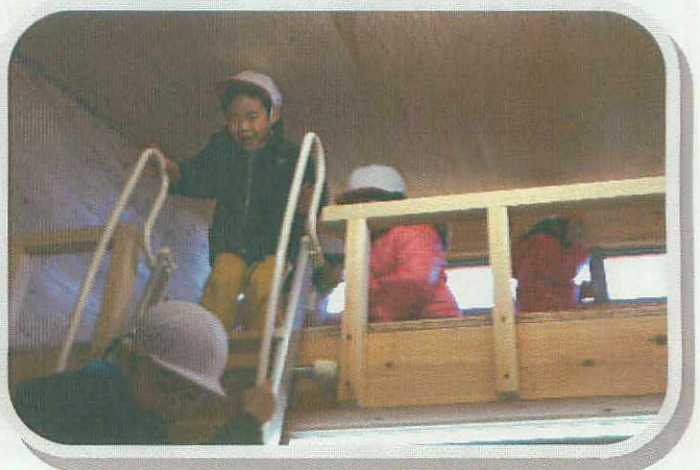
エコハウス位置図



「エコハウスやまだ」全景

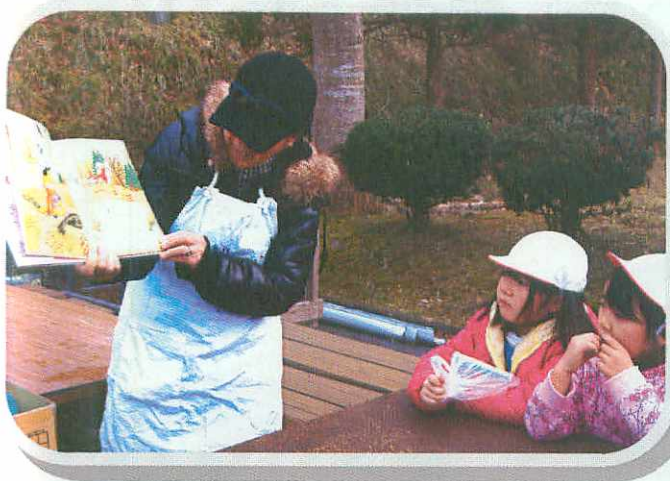


「Waのまちもりおかリースプロジェクト」によるリース製作教室



エコハウス内のロフトで遊ぶ子供たち

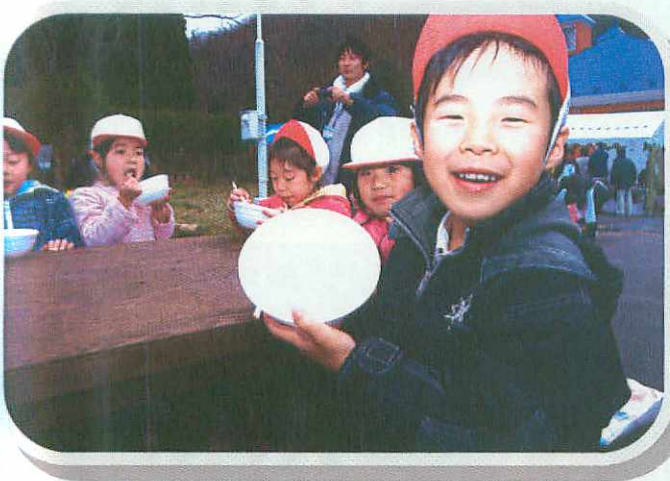




「3.11絵本プロジェクトいわて」の読み聞かせの様子



施工業者（昭栄建設）のスタッフがひつつみなどの炊き出しを行いました。



たくさんひつつみを食べてくれました。



山田町派遣の3人の盛岡市職員も駆けつけました。

### 沼崎山田町長からのお礼の言葉

「エコハウス山田」完成式典にあたり、町民を代表いたしまして一言、御礼を申し上げます。

三月十一日の大震災・大津波によりまして、本町は甚大な被害を蒙りましたが、県内外の皆さまからの物心両面にわたる多くの支援、励ましをいただきました。盛岡市の皆さまからも、義援金、支援物資のほかにも、被災者の内陸部避難に際しては、ホテル等におきまして懇切丁寧なお世話をいただき、被災者の皆さまからの感謝の声が私にも届けられています。

また、復旧のための膨大な行政需要に対して、滞りがちな役場機能を維持するために、長期にわたり市の職員を派遣していただいております。

加えて、本日より、被災地支援施設建設プロジェ

クトもりおか実行委員会の皆さまの善意により完成した「エコハウスやまだ」を利用させていただくことができました。心から感謝申し上げます。

発災以来、早くも九カ月を迎えようとしております。被災者の皆さまは、仮設住宅に移されましたが、これから厳しい冬を迎えることになります。部屋に閉じこもり孤立することなく、地域のコミュニティを確立して支え合うためにも、この場所が心の拠り所になるものと思っておりますし、近くにはボランティアセンターもありますので、ボランティアの皆さんとの交流拠点となるものであります。

重ねて、本事業を推進していただきました実行委員会に結集されました個人、団体、企業の皆さまに御礼を申し上げ、挨拶といたします。

ありがとうございました。



# 「エコハウスおおつち」完成式典

佐々木彰大槌町副町長にご出席いただき、12月11日(日)に現地において完成式典を開催しました。

式典では、晴山副実行委員長(町内会連合会会長)及び谷藤盛岡市長(細田副市長代理出席)からの挨拶ののち、碓川町長(佐々木副町長代理出席)から謝辞をいただきました。

式典後には、山田町と同様に、炊き出しや絵本のプレゼント、リースづくり講習会など盛りだくさんのアトラクションで、多くの皆様に楽しんでいただきました。

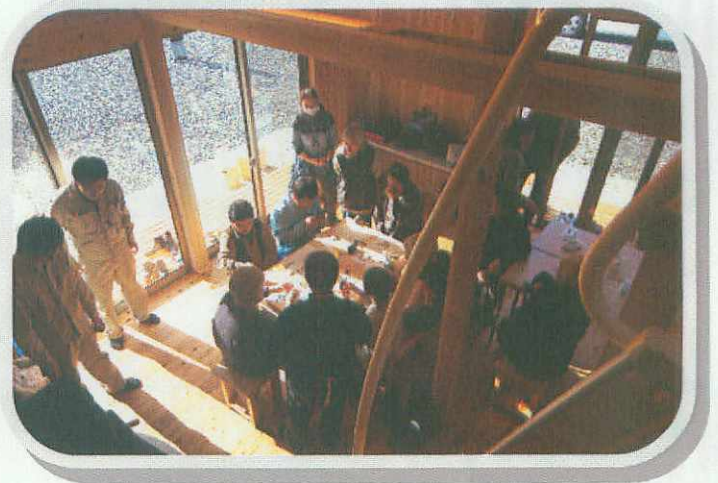
また、料理研究家でテレビリポーターとしてもおなじみの千葉皇子さんが駆けつけ、手づくりのひつつみ、おしるこ、甘酒の振る舞いをしていただきました。



「エコハウスおおつち」全景(奥に小槌第4仮設団地)



「エコハウスおおつち」位置図



ロフトから見たエコハウスの様子

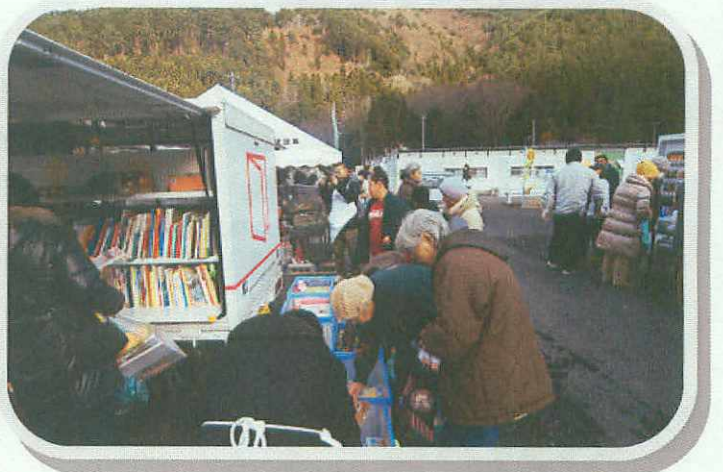


炊き出しの振る舞いやシャンプーセットの配布など、たくさんの人たちに集まっていただきました。





「Waのまちもりおかリースプロジェクト」によるリース製作教室



「3.11絵本プロジェクトいわて」による絵本のプレゼント



大槌町役場職員と千葉星子さん



大槌町役場職員と盛岡市役所職員が  
エコハウスをバックに記念写真

### 碓川豊大槌町長からのお礼の言葉

この素晴らしいエコハウスを寄贈してくださいました盛岡市長をはじめ、支援施設建設プロジェクトに協賛された方々の温かいご厚意にお礼申し上げます。

また、寒い中お集まりいただいた町民の皆様や地域活動を支えるボランティアの方々に厚くお礼申し上げます。

三月十一日発生した東日本大震災により、我々の生活は様変わりいたしました。町民の多くが、家族や友人といった大切な人々を亡くしたうえ、生活の拠り所である家屋や財産も失ってしまいました。

避難所生活から仮設住宅の生活に移った現在も、生活の再建に向け模索する日々が続いております。

こうしたなか、清掃事業所上流にある二つの仮設住宅団地で待ち望まれていた談話室を建築していただいたことにより、被災住民の交流の拠点として地域の絆を深める大きな役割を果たします。

また、このエコハウスは、自ら電力を生み出し、蓄えることによって、温もりのある光源と生活家電への動力をもたらします。

それは、我々の次のステップ目標である、生活再建を果たし自立する姿を指し示す復興のシンボルでございます。

終わりに、町では、本年中に災害復興計画を取りまとめ、着実に復興に取り組んでまいりたい決意でございます。引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして完成式典の謝辞とさせていただきます。



■ 建設関係者（順不同：敬称略）

株式会社結設計 昭栄建設株式会社 創造ホールディングス株式会社 株式会社サニックス 石村工業株式会社

■ 協賛（順不同、重複あり：敬称略）

○設計・施工

株式会社結設計 昭栄建設株式会社 創造ホールディングス株式会社 株式会社サニックス  
株式会社三協テック北東北

○その他設備など

宮古ボード工業株式会社 岩手県森林組合連合会 岩手大学農学部 関野登教授 株式会社三協テック北東北  
一般社団法人環境マテリアル推進協議会 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター  
Waのまちもりおかりースプロジェクト 3.11絵本プロジェクトいわて マテリアルリソーシング東北株式会社  
日本たばこ産業株式会社盛岡支店

○協賛金

もりおかエコライフ推進イベント実行委員会 八幡はしご酒祭り実行委員会 有限会社成城会館  
日本蚕糸学会 学校法人龍澤学館 いわて生活協同組合 東日本機電開発株式会社 個人2名

○イベント協賛

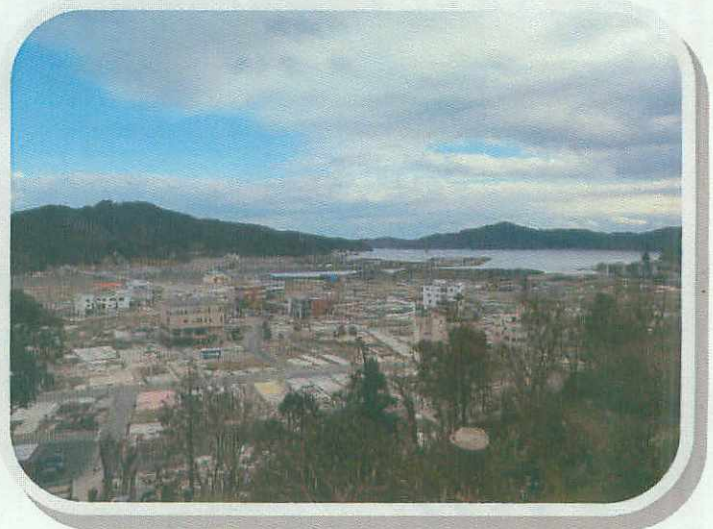
昭栄建設株式会社 株式会社バルプラス ビッグハウス 株式会社吉田産業盛岡支店 盛岡石油株式会社  
丸毛盛岡中央青果株式会社 株式会社中野製麺 有限会社小林工業 岩手ヤクルト販売株式会社  
日本たばこ産業株式会社盛岡支店 Waのまちもりおかりースプロジェクト 3.11絵本プロジェクトいわて

■ 被災地支援施設建設プロジェクトもりおか実行委員会名簿

委員長	谷藤 裕明	盛岡市長
副委員長	晴山 貞美	盛岡市町内会連合会 会長
監 事	中崎 和久	岩手県森林組合連合会 代表理事会長
委 員	山本 信次	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター 准教授
委 員	杉本 洋文	東海大学工学部 教授



現在の山田町中心部



現在の大槌町中心部

☆これから

写真のとおり、沿岸被災地の復興はまだこれからです。

エコハウスは、今後、山田町及び大槌町で管理していただくこととなりますが、盛岡市と被災地の友情のシンボルとして地元の皆様に愛されるように、引き続きできる限りの協力をしてまいります。

なお、エコハウスの取組みに共感した県外の方から寄附の問い合わせがあり、実行委員会として、新たな施設建設のお手伝いをさせていただき予定としています。



広げよう 支援の輪

被災地支援施設建設プロジェクト  
もりおか実行委員会事務局  
(盛岡市役所環境企画課内)

〒020-8531

盛岡市若園町2番18号

TEL : 019-626-3754

FAX : 019-626-4153